

Citation: Esposito M, Grusovin MG, Maghaireh H, Coulthard P, Worthington HV. Interventions for replacing missing teeth: management of soft tissues for dental implants. Cochrane Database of Systematic Reviews 2007, Issue 3. Art. No.: CD006697. DOI: 10.1002/14651858.CD006697
CRG名: Oral Health

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 10 May 2007
Clib issue No.; N/U: 2008 issue 1; -

背景: 通常、歯科用インプラント体を埋入するにはフラップを形成するが、患者の不快感を軽減するためにフラップレスでインプラント体を埋入することもある。いくつかのフラップ形成法や縫合法が提唱されている。しばしば、審美的な理由で歯肉を整えたり増大させたりする。インプラントの長期予後を改善するためには、インプラント周囲には十分な幅の付着歯肉や角化歯肉に取り囲まれていることが推奨されている。

目的: (1a)フラップレス手術は患者に有益かどうか、(1b)理想的なフラップデザインはどれか、(2a)歯肉形態を修正・増大することは患者にとって有益か、(2b)最も良い方法はどれか、(3a)インプラント周囲の角化歯肉を増やすことは患者にとって有益か、(3b)最良の方法はどれか、(4)最良の縫合方法、縫合材料はどれかを明らかにすること。

検索戦略: 本レビューでは、Cochrane Oral Health Group's Trials Register, Cochrane Central Register of Controlled Trials, MEDLINE, EMBASEを検索した。さらにいくつかの歯科雑誌をハンドサーチした。未発表のランダム化比較試験(RCT)を抽出するために、特定できた試験の全ての著者、インターネットディスカッショングループと口腔インプラント製造業者55社にコンタクトをとった。最新のインターネット検索は2007年1月15日に実施された。

選択基準: 対象は、口腔インプラント周囲の軟組織を扱う様々な手技を比較した歯根型オッセオインテグレートッドインプラント関連の全てのRCTである。アウトカムは補綴物やインプラント体の失敗、患者と歯科医が行う審美評価、生物学的併発症、術後疼痛、患者の好み、患者にとってのメンテナンスしやすさ、そして付着/角化歯肉の幅である。

データ収集と分析: 選択基準に適合する研究の選択、試験方法の質的評価とデータ抽出は、2人の査読者が別々に2回行った。連続変数アウトカムの結果は加重平均差を用いたランダム効果モデルで、二分変数アウトカムの結果については、95%信頼区間と相対リスクを用いて表現した。

主な結果: 8つのRCTが選択基準に合致し、最終的に140名の患者を含む5つの試験が選ばれた。2つの試験(100名の患者)は、フラップレスのインプラント体埋入と通常のフラップ手術との比較で、2つの試験(40名の患者)は、歯槽頂切開と前庭切開の比較、ひとつ(20名の患者)は、インプラントを粘膜から貫通させる2次手術時にYAGレーザーを使用した場合とフラップ手術の比較であった。インプラント体単位ではなく、患者単位の比較を行うと、術後疼痛はフラップレス手術で埋入したインプラント体やレーザーを用いて貫通させたインプラント体の方がフラップ手術を用いたものより統計学的に有意に少なかった。その他の要因には統計的有意差を認めなかった。

レビューアの結論: フラップレス手術によるインプラント体埋入は実現可能で、適切に選択された場合、患者の術後の不快感を軽減させることができる。しかし、どの切開、縫合方法や材料がよいのか、もしくはインプラント周囲歯肉の整形、増大させる方法や角化歯肉や付着歯肉の幅を増やすことが患者の利益に繋がるか否かに関する推奨を得るだけの信頼性のある十分なエビデンスはなかった。これらの問いに的確に答えるには、適切にデザインされた、さらなるRCTが必要である。

(翻訳 荒川 光・監訳 窪木拓男; JCOHR)

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。